



老松っ子だより

学校だより 第2号
令和4年5月9日
倉敷市立老松小学校

1か月が経ちました。

新年度が始まり、約1か月がたちました。新型コロナウイルス感染症の感染防止に気を付けながらの生活が続いています。その中で、4月11日に入学した新一年生の子供たちを含め、老松っ子たちは、新しい学年、新しい学級に少しずつ慣れ、学校生活をスムーズにスタートしています。そんな学校の様子をお届けします。

◆◆◆4月～5月上旬の老松っ子特集◆◆◆

【初めての参観日（4月15日）】

1時間を2グループに分けて短時間の参観となりましたが、多くの保護者の皆様に学校に足を運んでいただき、ありがとうございました。学年が一つ進級し、張り切って頑張る姿が見えていたのではないかと思います。これからも日々の生活の中で様々な思いを抱えながら子供たちは頑張っていくと思います。共に力を合わせて支えていけるよう、教職員一同頑張っていきたいと思っています。ご協力よろしく申し上げます。



【1年生給食デビュー！（4月15日）】



記念すべき最初のメニューはカレーライスでした。「黙食」ではありましたが、おいしそうにパクパクと食べる様子がほほえましかったです。感想を聞くと、「小学校の給食っておいしいね！」「これからの給食がとっても楽しみです。」とニコニコ笑顔で話してくれる一年生。「食べることは生きること。」食育についても大切に取り組んでいこうと思います。「今日の給食どうだった？」と、おうちでも給食の話題をとりあげてみてくださいね。

【1年生を迎える会（4月18日）】

放送で「1年生を迎える会」が行われました。会の中では、6年生からのお迎えの言葉があったり、くす玉割りをしたりと、子供たちが企画し運営した心のこもった会となりました。各学年からのプレゼントもあり、1年生を全校で温かく迎えるすてきな時間となりました。



【避難訓練（4月22日）】

地震が起きたことを想定して、全校で避難訓練を行いました。命を守るための大切な勉強です。放送をよく聞き、出火場所から離れるように避難することが大切です。「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」を守って、静かに避難することができました。訓練後は、各学年でしっかりと振り返りを行いました。いつ起こるか分からないからこそ、この訓練が大切となります。ご家庭でも、もし地震が起きたらということと一緒に考えてみる機会をもってみてもよいですね。



【ふれあいタイムで名刺交換（4月28日）】

老松小学校では、ペア学年での活動も大切にしています。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペア学年となり、絆を深めます。この日は、朝学習の時間を使って、今年度ペアになる人を確認し、名刺交換を行いました。2グループに分かれて教室に入るなど、密を避けながらの交流となりました。ふれあいは密を避けますが、心のつながりは密でありたいものですね。



【老松っ子 「きらり」コーナー！】



靴箱の靴が美しく整頓されています。「靴が揃うと心が揃う」とも言われています。心の落ち着きを感じられます。とてもよい姿勢で、始めや終わりのあいさつをしたり、友達の方をしっかりと見て話が聞けたり、頑張ろうという様子が随所で感じられ、校内を回りながら嬉しく感じています。このやる気をしっかり伸ばしていけるように、教職員一同、頑張っていきます。

【ほっと一息 子育てコーナー】

○ 子どもは自分を好きになれなければ、友達を好きになれない。自分のことを好きになれる子どもは、十分に愛されている子どもである。十分にとは、できるだけ条件をつけないでということである。何かがよくできるようになったら喜んであげるなどという、親の身勝手な愛や欲望にもてあそばれることがないように・・・である。

児童精神科医 佐々木正美先生 著書 「ことばの森」より引用